

男女平等推進フォーラム2019 (12/8)

多様な働き方で「ライフ」と「ワーク」の「シナジー(相乗効果)」を生み出そう! ～女性活躍に向けて男性の働き方、意識の改革を!!～



主催者挨拶 連合福島青年
女性委員会代表幹事 大越
香代子さん

「連合福島男女平等推進フォーラム2019」は、12月8日(土)に福島市「杉妻会館」において、各構成組織・地域地区連合から約120名が結集し、盛会に開催された。

開催にあたり、大越代表幹事(電機連合)より「女性活躍、男女平等は人手不足、人口減少社会で活発に叫ばれているが、家事や育児の負担等の改善はされていない。この数十年で社会構造、働き方は激変してきた。その中でどのようにワーク・ライフ・バランスを取り入れていけば良いのか今日のフォーラムで勉強して頂きたい。」と挨拶をした。続いて、連合福島を代表し、



来賓挨拶 連合福島・加藤
光一事務局長

加藤事務局長から「連合福島として第四次男女平等参画推進計画のもと、各構成組織に女性役員の登用、動員時の女性参加をお願いしている。仕事の場ではまだまだ、男女間で昇進や賃金格差がある。連合福島としても是正に向け取り組んでいきたい。」と挨拶を受けた。講演には株式会社トーネットキャリア開発事業部長である高橋氏を講師に迎え



講師：(株)トーネット・キャリア開発事業部
長 高橋理里子さん

「人生戦略としてのワーク・ライフ・バランス」と題して講演を頂いた。講演ではワーク・ライフ・バランスとは単に労働時間の負荷を減らすのではなく、「ライフ」を充実させ「ワーク」に反映する「ライフ」と「ワーク」における「シナジー(相乗効果)」を実現することであると、人口オーナス期(少子高齢社会)にあった働き方を企業は模索することが求められていると説明を頂いた。また、「女性活躍のためには、男性の働き方改革と育児への参画が重要であるが、男性の育児休業の取得は進んでいない。使われない制度より、使いやすい風土作りを労働組合の皆さんにお願いしたい」と参加者へ訴えた。最後に司会者より、学習した内容を職場へ持ち帰り各々の立場でワーク・ライフ・バランスの推進をお願い申し上げ、フォーラムの閉会となった。



質問する電力総連 佐藤
さん

働き方改革と育児への参画が重要であるが、男性の育児休業の取得は進んでいない。使われない制度より、使いやすい風土作りを労働組合の皆さんにお願いしたい」と参加者へ訴えた。最後に司会者より、学習した内容を職場へ持ち帰り各々の立場でワーク・ライフ・バランスの推進をお願い申し上げ、フォーラムの閉会となった。



熱心に傾聴する参加者の皆さん